

東北復興日記

80

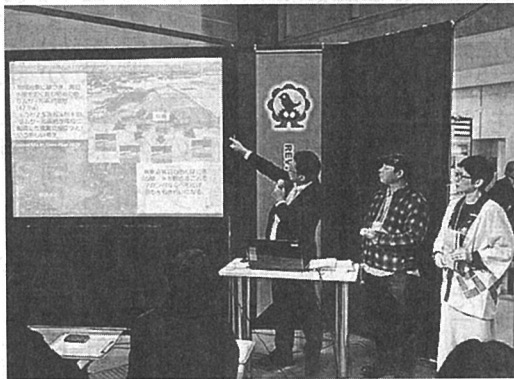
「とてもうれしい。何より共に取り組んできた農家やNPOの方々にとって大きな励みになりました！」。宮城県大崎市役所の高橋直樹さんの声です。高橋さんが事務局を務める「蕪栗沼ふゆみずたんぼプロジェクト」は、リバイブジャパンカ

ランドブレイン株式会社地方活性化グループ
上原望さん



未来の日本の形ここから

「リバイブジャパンカッ
ップ2013で、カルチ
ャー部門コミュニケーション
のグランプリを受賞
しました」写真。



は、八年前から行われ
ているエコジャパンカッ
プに新設された新しいコ
ンテストで、復興庁が支
援しています。四つの部
門に三百を超える応募が
あり、二十三の提案や取
り組みが受賞。二月十四
日に表彰レセプションが
開催されました。

震災から三年、私も東
京から通いながらお手伝
いしてきた二つの取り組
みが受賞しました。渡り
鳥や生きものとの共生に
十年以上前から取り組ん
できた「ふゆみずたん
ぼ」。そして、オーガニ

ックコットンや自然エネ
ルギーなどの事業を進め
る福島県いわき市の「い
わきおてんとSUNプロ
ジェクト」は、ビジネス
部門復興ビジネス・ベン
チャーオープン審査員
応援賞を受賞しました。

レセプションでは、受
賞者、審査員、主催者関係
団体や企業の方々など約
二百人が経験を共有する
とともに、受賞の喜びを
分かち合いました。いわ
きおてんとSUN企業組
合の島村守彦さんは「と
もに活動している若い人
たちの励みになります。
次世代を切りひらくのは
彼らですから」と話しま
した。

被災地は人口減少、産
業の空洞化などさまざま
な課題を抱えています。私
が、それが震災でさらに
加速しました。私は、復
興の中で自然エネルギー
への転換、生物多様性と
いったい価値観を暮らしの
中に浸透させ、未来の日
本のモデルとなるような
「新しい東北の創出に夢
を感じています。そして、
自らもその一助となる活
動に引き続き携わってい
きたいと願っています。

この連載は、東京の
NPO法人「女子教育
奨励会」と、被災地の
女性たちが協力して復
興に取り組む「結結プ
ロジェクト」の協力を
得て、掲載しています。